

がい数とその計算

1 目 きそ | 知識・技能のたしかめ

1 2 3 4 めやす 10分

1

ししやごにゆう

四捨五入して、次のがい数にしましょう。

(1) 3672を百の位までのがい数に

(2) 5148を千の位までのがい数に

(3) 26400を上から2けたのがい数に

2

ししやごにゆう

四捨五入して百の位までのがい数にすると400になる整数のはんいを考えます。①・②にあてはまる数を書きましょう。

①以上、②未満の整数です。

3

上から1けたのがい数にして、答えを見積もりましょう。

(1) 612×38

式

答え

(2) $6120 \div 29$

式

答え

4

①・②にあてはまることばを書きましょう。

およその数のことを①といいます。四捨五入では、求める位の1つ下の位が0～4のとき②、5～9のとき切り上げます。

がい数とその計算

2まい目 よみとる | 資料から情報を読み取る

1 2 3 4 めやす 10分

1 3つの市の人口を表にまとめました。次の資料^{しりょう}を見て答えましょう。[資料] 3つの市の人口^{しりょう}

市	人口
A市	38412人
B市	41596人
C市	39875人

それぞれの人口を、千の位までのがい数にしましょう。

(1) A市 (2) B市 (3) C市

(4) 人口をがい数で表すと、どんなよさがありますか。ア～ウから1つ選びましょう。

ア 大きさのちがいが分かりやすくなる イ 正確な人数が分かるようになる

ウ 計算をしなくてよくなる

答え

2 580円のノートセット、320円のペン、240円のけしゴムを買います。1000円で足りるかを見積もります。

(1) 百の位までのがい数に切り上げて、代金を見積もりましょう。

式 答え

(2) 足りるかどうかを見積もるとき、切り上げを使うのはなぜですか。ア～ウから1つ選びましょう。

ア 多めに見積もっておけば、実さいの代金が見積もりより少なくなるから

イ 少なめに見積もったほうが安心だから ウ 四捨五入^{ししやごにゅう}より計算が簡単だから答え

がい数とその計算

3まい目 かんがえる | 筋道を立てて考える

1 2 3 4 めやす 15分

- 1 4年生118人で社会科見学に行きます。バス代は1人480円です。全部でおよそいくらかかるかを見積もります。

りん 118×480 は計算がたいへんだから、およその数にして見積もう。

たく 上から1けたのがい数にすれば、かんたんな計算になるね。

- (1) ㉖～㉘にあてはまる数を書きましょう。

考え方のとちゅう

118を上から1けたのがい数にすると㉖、480を上から1けたのがい数にすると㉙になります。 $100 \times 500 =$ ㉘なので、バス代はおよそ50000円と見積もれます。

㉖

㉙

㉘

- 2 実さいのバス代は $118 \times 480 = 56640$ 円でした。

- (1) 見積もった50000円と実さいの56640円をくらべると、どうなっていますか。ア～ウから1つ選びましょう。

ア 実さいのほうが多く、見積もりでは足りない

イ 実さいのほうが多く、見積もりで足りる ウ 実さいと見積もりは同じ

答え

- (2) 118を120、480を500として見積もると、バス代はおよそ何円ですか。

式

答え

- 3 見積もり方をふり返ります。㉙にあてはまることばを書きましょう。

お金が足りるかを考えるときは、㉙で多めに見積もると安心です。

㉙

がい数とその計算

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 そうたさんは、38472を千の位までのがい数にしようとしています。

そうた 千の位までのがい数にするから、千の位の8を^{ししやごにゆう}四捨五入して40000だよ。

(1) そうたさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア 千の位までのがい数にするときは、1つ下の百の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するからイ 千の位までのがい数にするときは、十の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するからウ 千の位までのがい数にするときは、一の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するから

答え

(2) 38472を千の位までのがい数にすると、いくつになりますか。「^{ししやごにゆう}四捨五入」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

^{ししやごにゆう}
四捨五入

52738をがい数にしましょう。

(3) 千の位まで

(4) 上から1けた

2

①にあてはまることばを書きましょう。

ある位までのがい数にするときは、その位の①の位を^{ししやごにゆう}四捨五入します。

①

がい数とその計算

| まい目 きそ | 知識・技能のたしかめ 答え

1 2 3 4 めやす 10分

1

ししやごにゆう

四捨五入して、次のがい数にしましょう。

(1) 3672を百の位までのがい数に

3700

(2) 5148を千の位までのがい数に

5000

(3) 26400を上から2けたのがい数に

26000

2

ししやごにゆう

四捨五入して百の位までのがい数にすると400になる整数のはんいを考えます。①・②にあてはまる数を書きましょう。

①以上、②未満の整数です。

① 350

② 450

3

上から1けたのがい数にして、答えを見積もりましょう。

(1) 612×38 式 600×40

答え 24000

(2) $6120 \div 29$ 式 $6000 \div 30$

答え 200

4

①・②にあてはまることばを書きましょう。

およその数のことを①といいます。四捨五入では、求める位の1つ下の位が0～4のとき②、5～9のとき切り上げます。

① がい数

② 切り捨^すて

考え方

大問1 百の位までなら十の位を、千の位までなら百の位をししやごにゆうして四捨五入します。

大問2 350～449が400になります。450は500になるので未満です。

がい数とその計算

2まい目 よみとる

資料から情報を読み取る

答え

1

2

3

4

めやす 10分

1 3つの市の人口を表にまとめました。次の資料^{しりょう}を見て答えましょう。〔資料〕3つの市の人口^{しりょう}

市	人口
A市	38412人
B市	41596人
C市	39875人

それぞれの人口を、千の位までのがい数にしましょう。

(1) A市 38000人

(2) B市 42000人

(3) C市 40000人

(4) 人口をがい数で表すと、どんなよさがありますか。ア～ウから1つ選びましょう。

ア 大きさのちがいが分かりやすくなる イ 正確な人数が分かるようになる

ウ 計算をしなくてよくなる

答え ア

2 580円のノートセット、320円のペン、240円のけしゴムを買います。1000円で足りるかを見積もります。

(1) 百の位までのがい数に切り上げて、代金を見積もりましょう。

式 600+400+300

答え 1300円

(2) 足りるかどうかを見積もるとき、切り上げを使うのはなぜですか。ア～ウから1つ選びましょう。

ア 多めに見積もっておけば、実さいの代金が見積もりより少なくなるから

イ 少なめに見積もったほうが安心だから ウ 四捨五入^{ししゃごにゅう}より計算が簡単だから

答え ア

考え方

大問1 千の位までは百の位を四捨五入^{ししゃごにゅう}。38412→38000、41596→42000、39875→40000。

大問2 切り上げた見積もりは1300円で1000円をこえるので、足りないと分かります。実さいの代金は1140円です。

がい数とその計算

3まい目 かんがえる | 筋道を立てて考える 答え

1 2 3 4 めやす 15分

- 1 4年生118人で社会科見学に行きます。バス代は1人480円です。全部でおよそいくらかかるかを見積もります。

りん 118×480 は計算がたいへんだから、およその数にして見積もう。

たく 上から1けたのがい数にすれば、かんたんな計算になるね。

(1) ㉖～㉘にあてはまる数を書きましょう。

考え方のとちゅう

118を上から1けたのがい数にすると㉖、480を上から1けたのがい数にすると㉙になります。100×500=㉘なので、バス代はおよそ50000円と見積もれます。

㉖ 100

㉙ 500

㉘ 50000

- 2 実さいのバス代は118×480=56640円でした。

(1) 見積もった50000円と実さいの56640円をくらべると、どうなっていますか。ア～ウから1つ選びましょう。

㉖ 実さいのほうが多く、見積もりでは足りない

イ 実さいのほうが多く、見積もりで足りる ウ 実さいと見積もりは同じ

答え ア

(2) 118を120、480を500として見積もると、バス代はおよそ何円ですか。

式 120×500

答え 60000円

- 3 見積もり方をふり返ります。㉙にあてはまることばを書きましょう。

お金が足りるかを考えるときは、㉙で多めに見積もると安心です。

㉙ 切り上げ

考え方

大問1 100×500=50000。かんたんな計算でおよその金額がつかめます。

大問2 少なめの見積もりだと足りません。120×500=60000なら実さい（56640円）をこえるので安心です。

がい数とその計算

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 そうたさんは、38472を千の位までのがい数にしようとしています。

そうた 千の位までのがい数にするから、千の位の8を^{ししやごにゆう}四捨五入して40000だよ。

(1) そうたさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

Ⓐ 千の位までのがい数にするときは、1つ下の百の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するから

イ 千の位までのがい数にするときは、十の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するから

ウ 千の位までのがい数にするときは、一の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するから

答え

ア

(2) 38472を千の位までのがい数にすると、いくつになりますか。「^{ししやごにゆう}四捨五入」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

^{ししやごにゆう}四捨五入

千の位までのがい数にするときは、1つ下の百の位を^{ししやごにゆう}四捨五入する。38472の百の位は4だから切り^す捨てて、38000になる。

52738をがい数にしましょう。

(3) 千の位まで

53000

(4) 上から1けた

50000

2 ①にあてはまることばを書きましょう。

ある位までのがい数にするときは、その位の①の位を^{ししやごにゆう}四捨五入します。

① 1つ下

考え方

大問1 38472の百の位は4なので切り^す捨てて38000。千の位を^{ししやごにゆう}四捨五入すると万の位までのがい数になってしまいます。

52738は百の位が7で切り^す上げて53000。上から1けたなら上から2けた目の2を切り^す捨てて50000です。